



大津市公報

令和3年12月1日
号外 (第 58 号)発行所 大津市役所
発行人 大津市
毎月1日、15日(休日の場合は翌日)発行

目 次

○ 告 示
310 令和3年度上半期の大津市の水道事業、下水道事業及びガス事業の業務状況の公表について…………… 1

告 示

大津市告示第310号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、令和3年4月1日から同年9月30日までの大津市の水道事業、下水道事業及びガス事業の業務の状況を次のとおり公表する。

令和3年12月1日

大津市長 佐藤 健 司

第1 水道事業

1 事業の概況

(1) 総括事項

(業務状況)

令和3年度上半期の給水戸数は前年同期と比較して1,651戸（1.0%）増加しましたが、給水収益は前年同期と比較して2,273万円（0.7%）減の30億2,987万円となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言の発令に伴い、滋賀県による休業又は営業時間短縮の要請に応じたことによる影響を受けた飲食店に対して、申請に基づき、令和3年8月請求分の水道料金の減免を行いました。

プラスチックごみが社会問題となっていることから、水源である琵琶湖の環境保全に貢献するため、マイボトルを持ち歩くライフスタイルの実践に向けた取組として、空になったマイボトルへ給水ができる給水スポット（冷水機）をなぎさ公園に設置しました。

(建設・改良・維持管理)

拡張事業では、水需要の減少に伴って比良浄水場を廃止するため、八屋戸浄水場からの送水管整備を実施しています。また、瀬田地区の安定給水のために瀬田公園配水池系の配水幹線の整備を実施しています。

改良事業では、健全管路の確保を図り、安定給水と漏水防止を図るため、老朽铸铁管や鉛製給水管の布設替工事を計画的に行うとともに、山上配水池系送水管の老朽管布設替工事を令和2年度に引き続いて実施しています。また、浄水場等施設の耐震化を含む柳が崎浄水場の改良工事を実施しています。

その他、24時間常駐体制の下、修繕業務等を行いました。

(経理状況)

令和3年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して1,213万円（0.3%）増加し、36億811万円となりました。一方、費用総額は4,015万円（1.6%）減少して、24億896万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き11億9,915万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

区 分	単位	令和3年度 上半期	令和2年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
期 末 給 水 戸 数	戸	159,300	157,649	1,651	1.0
期 間 給 水 量	m ³	19,249,189	19,277,243	△ 28,054	△ 0.1
一 日 平 均 給 水 量	m ³	105,187	105,340	△ 153	△ 0.1
給 水 収 益	円	3,029,871,783	3,052,604,693	△ 22,732,910	△ 0.7
受 託 工 事 収 益	円	13,315,080	12,170,640	1,144,440	9.4
そ の 他 収 益	円	564,924,034	531,204,291	33,719,743	6.3

総 収 益	円	3,608,110,897	3,595,979,624	12,131,273	0.3
総 費 用	円	2,408,960,826	2,449,113,416	△ 40,152,590	△ 1.6

※ 文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

(1) 損益計算書

損 益 計 算 書

令和3年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	(3,061,514,763)	営 業 費 用	(2,252,700,164)
給 水 収 益	3,029,871,783	浄 水 費	369,950,866
受 託 工 事 収 益	13,315,080	配 水 費	199,074,122
そ の 他 営 業 収 益	18,327,900	漏 水 対 策 費	11,554,696
営 業 外 収 益	(546,559,368)	給 水 費	108,206,839
受 取 利 息 及 び 配 当 金	47,800	受 託 工 事 費	9,056,667
加 入 金	160,120,000	業 務 費	122,826,151
他 会 計 負 担 金	9,588,686	総 係 費	75,092,822
長 期 前 受 金 戻 入	335,922,000	減 価 償 却 費	1,328,040,000
雑 収 益	40,880,882	資 産 減 耗 費	28,898,001
特 別 収 益	(36,766)	営 業 外 費 用	(156,260,662)
固 定 資 産 売 却 益	36,766	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	145,673,628
		雑 支 出	10,587,034
		当 期 純 利 益	(1,199,150,071)
計	3,608,110,897	計	3,608,110,897

(2) 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和3年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[61,399,825,787]	固 定 負 債	[16,154,806,772]
有 形 固 定 資 産	(61,309,709,863)	企 業 債	15,359,936,612
土 地	4,060,809,768	引 当 金	794,870,160
建 物	3,766,068,737	流 動 負 債	[1,145,520,628]
構 築 物	89,902,575,077	企 業 債	646,872,593
機 械 及 び 装 置	19,283,678,234	前 受 金	144,381,814
車 両 運 搬 具	90,415,931	そ の 他 流 動 負 債	354,266,221
工 具、器 具 及 び 備 品	495,488,323	繰 延 収 益	[12,678,750,609]
建 設 仮 勘 定	3,179,048,169	長 期 前 受 金	31,641,883,325
減 価 償 却 累 計 額	△ 59,468,374,376	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 18,963,132,716
無 形 固 定 資 産	(84,515,924)	資 本 金	[33,399,267,950]
施 設 利 用 権	2,797,090	資 本 金	33,399,267,950
庁 舎 使 用 権	25,499,280	剰 余 金	[2,317,226,651]
電 話 加 入 権	5,807,699	資 本 剰 余 金	811,082,357
預 託 金	199,760	利 益 剰 余 金	1,506,144,294
ソ フ ト ウ ェ ア	50,212,095	当 期 純 利 益	[1,199,150,071]
投 資 そ の 他 の 資 産	(5,600,000)		

破産更生債権等	5,382,209		
破産更生債権等貸倒引当金	△ 5,382,209		
その他投資	5,600,000		
流動資産	[5,494,896,894]		
現金・預金	4,651,531,510		
未収金	650,379,159		
未収金貸倒引当金	△ 12,201,000		
貯蔵品	29,877,702		
前払金	53,636,700		
その他流動資産	121,672,823		
計	66,894,722,681	計	66,894,722,681

3 令和2年度決算状況

(1) 総括事項

令和2年度の水道事業は、「湖都大津・新水道ビジョン（重点実行計画・中長期経営計画（経営戦略）」に基づき、安全で安心な水道水を安定して供給し続けるため、浄水場の施設整備や老朽化した送・配水管の布設替え、浄水場間を結ぶ連絡幹線の整備などを推進してきました。

経営面では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛の要請等の影響により、有収水量は前年度と比較して商業用や公用・学校用が減少した一方で家庭用が増加したことから、事業全体としては微増となり、純利益を計上することができました。

給水戸数については増加しているものの、一戸当たりの有収水量は減少していることに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、今後の水需要は見通し難い状況となっています。今後は大規模な施設整備や更新等による費用の増加が見込まれていることから、厳しい経営状況が予測されます。

このような中、次世代に健全な施設を引き継ぎ、お客様に継続して安心・安全な水道水を提供するため、令和2年度に改訂した中長期経営計画に基づき、より一層効率的な事業推進に取り組みつつ、持続可能な事業運営を実施していきます。

令和2年度の業務状況は次のとおりです。

給水状況を前年度と比べると、年度末現在給水戸数は1,693戸（1.1%）増加して15万8,217戸となり、有収水量は約36万³m³（0.9%）増加して3,874万³m³となりました。

決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は6,621万円（0.9%）減少して72億9,514万円となりました。一方、支出総額は2億1,627万円（3.7%）増加して59億9,735万円となりました。

この結果、令和2年度決算において、12億9,779万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

ア 業務量

区 分	単位	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸び率 (%)
配水量	m ³	40,667,304	40,376,582	290,722	0.7
一日平均配水量	m ³	111,417	110,319	1,098	1.0
有収水量	m ³	38,740,043	38,378,708	361,335	0.9
一日平均有収水量	m ³	106,137	104,860	1,277	1.2
年度末現在給水戸数	戸	158,217	156,524	1,693	1.1
年度末現在給水人口	人	342,573	342,048	525	0.2

イ 給水戸数内訳

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (戸)	伸び率 (%)
	戸数 (戸)	構成比 (%)	戸数 (戸)	構成比 (%)		
家庭用	146,605	92.7	145,013	92.7	1,592	1.1
工場用	214	0.1	214	0.1	0	0.0

商 業 用	6,246	3.9	6,244	4.0	2	0.0
公用・学校用	1,545	1.0	1,554	1.0	△ 9	△ 0.6
医 療 用	466	0.3	454	0.3	12	2.6
公衆浴場用	8	0.0	8	0.0	0	0.0
そ の 他	3,133	2.0	3,037	1.9	96	3.2
計	158,217	100.0	156,524	100.0	1,693	1.1

ウ 給水量内訳

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	有収水量 (m ³)	構成比 (%)	有収水量 (m ³)	構成比 (%)		
家 庭 用	31,369,304	81.0	30,035,699	78.3	1,333,605	4.4
工 場 用	937,938	2.4	979,828	2.5	△ 41,890	△ 4.3
商 業 用	3,830,821	9.9	4,513,188	11.8	△ 682,367	△ 15.1
公用・学校用	1,545,627	4.0	1,760,747	4.6	△ 215,120	△ 12.2
医 療 用	622,141	1.6	682,734	1.8	△ 60,593	△ 8.9
公衆浴場用	10,228	0.0	3,351	0.0	6,877	著 増
そ の 他	423,984	1.1	403,161	1.0	20,823	5.2
計	38,740,043	100.0	38,378,708	100.0	361,335	0.9

エ 事業収益

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
営 業 収 益	6,220,439,333	85.3	6,261,336,459	85.1	△ 40,897,126	△ 0.7
給水収益	6,128,802,485	84.0	6,174,030,087	83.9	△ 45,227,602	△ 0.7
受託工事収益	24,409,980	0.4	24,510,805	0.3	△ 100,825	△ 0.4
その他営業収益	67,226,868	0.9	62,795,567	0.9	4,431,301	7.1
営 業 外 収 益	1,074,704,214	14.7	1,099,837,389	14.9	△ 25,133,175	△ 2.3
特 別 利 益	0	0.0	177,072	0.0	△ 177,072	皆 減
計	7,295,143,547	100.0	7,361,350,920	100.0	△ 66,207,373	△ 0.9

オ 事業費用

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
営 業 費 用	5,610,781,949	93.5	5,368,275,703	92.9	242,506,246	4.5
営 業 外 費 用	376,790,634	6.3	412,636,429	7.1	△ 35,845,795	△ 8.7
特 別 損 失	9,778,947	0.2	171,598	0.0	9,607,349	著 増
計	5,997,351,530	100.0	5,781,083,730	100.0	216,267,800	3.7

カ 令和2年度純利益

1, 297, 792, 017円

第2 下水道事業

1 事業の概況

(1) 総括事項

(業務状況)

令和3年度上半期の調定件数は前年同期と比較して11,594件(1.4%)増加し、下水道使用料は前年同期と比較して5,817万円(1.8%)増の32億9,052万円となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言の発令に伴い、滋賀県による休業又は営業時間短縮の要請に応じたことによる影響を受けた飲食店に対して、申請に基づき、令和3年8月請求分の下水道使用料の減免を行いました。

(建設・改良・維持管理)

地震対策事業では、「総合地震対策計画」に基づき、大津膳所北幹線及び南大萱1号幹線の耐震化工事を計画的に実施しています。

改築更新事業では、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、市内の管渠改築更新工事を実施しています。また、田上第2中継ポンプ場からの圧送管の二条化事業に係る基本設計業務を実施しています。

令和元年度から進めてきた終末処理場の広域化・共同化についての検討の結果、終末処理場は、現在立地する由美浜で再構築を進めることを決定しました。これに伴い、当該再構築に係る水処理施設の基本設計を日本下水道事業団に委託して実施しています。

雨水渠の整備については、「公共下水道事業計画(雨水渠)」に基づき、殿田川雨水渠築造工事を施行し、大將軍一丁目における浸水対策を進めています。

水環境の保全対策では、瀬田浦クリークの水質調査の実施に伴い、クリークに堆積した泥土の一部を浚渫する予定です。

その他、下水道施設の調査、清掃や修繕を随時行い、適切な維持管理に努めています。

(経理状況)

令和3年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して10億3,994万円(22.7%)増加し、56億1,231万円となりました。増加の主な理由は、下水道調査室による特定事業場への訪問調査により、平成2年から地下水を公共下水道へ無届放流をしていた事業場を確認したことに伴い、同年からの下水道使用料相当分を特別利益として計上したことによるものです。一方、費用総額は6,851万円(1.8%)減少して、38億1,996万円となりました。

この結果、当期の収支は、差引き17億9,235万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

区 分	単位	令和3年度 上半期	令和2年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
調 定 件 数	件	834,481	822,887	11,594	1.4
期 間 有 収 水 量	m ³	18,621,690	18,440,745	180,945	1.0
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	101,758	100,769	989	1.0
下 水 道 使 用 料	円	3,290,523,993	3,232,356,984	58,167,009	1.8
そ の 他 収 益	円	2,321,785,886	1,340,013,243	981,772,643	73.3
総 収 益	円	5,612,309,879	4,572,370,227	1,039,939,652	22.7
総 費 用	円	3,819,963,142	3,888,472,443	△ 68,509,301	△ 1.8

※ 文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

(1) 損益計算書

損 益 計 算 書

令和3年4月1日から同年9月30日まで
(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額

営 業 収 益	(3,558,570,193)	営 業 費 用	(3,473,164,067)
下 水 道 使 用 料	3,290,523,993	管 渠 費	76,678,548
雨 水 処 理 負 担 金	267,196,500	ポ ン プ 場 費	37,155,840
そ の 他 営 業 収 益	849,700	処 理 場 費	210,343,847
営 業 外 収 益	(1,567,731,659)	流 域 下 水 道 管 理 費	552,692,464
受 取 利 息 及 び 配 当 金	16,115	業 務 費	126,049,196
他 会 計 負 担 金	446,033,500	総 係 費	73,293,172
他 会 計 補 助 金	57,434,000	減 価 償 却 費	2,395,386,000
長 期 前 受 金 戻 入	1,048,572,000	資 産 減 耗 費	985,000
雑 収 益	15,676,044	そ の 他 営 業 費 用	580,000
特 別 利 益	(486,008,027)	営 業 外 費 用	(346,799,075)
過 年 度 損 益 修 正 益	486,008,027	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	346,799,075
		当 期 純 利 益	(1,792,346,737)
計	5,612,309,879	計	5,612,309,879

(2) 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和3年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[122,694,987,227]	固 定 負 債	[32,455,097,323]
有 形 固 定 資 産	(114,578,725,071)	企 業 債	32,239,734,163
土 地	1,208,621,235	引 当 金	215,363,160
建 物	1,901,339,659	流 動 負 債	[2,283,365,716]
構 築 物	149,176,063,409	企 業 債	1,908,483,733
機 械 及 び 装 置	10,942,553,766	未 払 費 用	373,296
車 両 運 搬 具	4,555,778	そ の 他 流 動 負 債	374,508,687
工 具、器 具 及 び 備 品	75,886,907	繰 延 収 益	[53,195,724,600]
建 設 仮 勘 定	992,395,367	長 期 前 受 金	76,749,532,854
減 価 償 却 累 計 額	△ 49,722,691,050	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 23,553,808,254
無 形 固 定 資 産	(8,099,642,156)	資 本 金	[36,273,505,684]
地 上 権	244,661	資 本 金	36,273,505,684
施 設 利 用 権	8,070,471,693	剰 余 金	[974,617,207]
預 託 金	28,660	資 本 剰 余 金	190,304,862
ソ フ ト ウ ェ ア	28,897,142	利 益 剰 余 金	784,312,345
投 資 そ の 他 の 資 産	(16,620,000)	当 期 純 利 益	[1,792,346,737]
破 産 更 生 債 権 等	140,445,829		
破 産 更 生 債 権 等 貸 倒 引 当 金	△ 140,445,829		
そ の 他 投 資	16,620,000		
流 動 資 産	[4,279,670,040]		
現 金 ・ 預 金	2,887,587,224		
未 収 金	1,234,356,573		
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△ 23,995,000		
前 払 金	75,133,200		
そ の 他 流 動 資 産	106,588,043		
計	126,974,657,267	計	126,974,657,267

3 令和2年度決算状況

(1) 総括事項

令和2年度の下水道事業は、生活環境の改善や安全性の向上、水環境の保全などの直面する諸課題に対応するため、膨大な下水道施設の維持管理及び改築更新を効率的に推進するべく、「大津市下水道事業中

長期経営計画(経営戦略)に基づき、管渠整備や施設の改築更新、施設の地震対策に取り組みました。

さらに、事業用排水に係る公共下水道の使用の実態を把握するため、下水道調査室を設置し、特定事業場に対して立入調査等を実施しました。

経営面では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛の要請等の影響により、下水道使用料収入については前年度と比較して減収となりましたが、流域下水道維持管理負担金の精算に伴う特別利益の計上等により、前年度を上回る純利益を計上することができました。

しかし、今後、大規模な施設整備や更新により、資金需要が高まることを見込まれるのに対し、下水道普及率が高いことや節水意識が定着していることを踏まえると、今後の収益の大幅な増加は期待できません。

このような中、更なるお客様サービスの向上や経営の効率化を図るため、令和2年度に改訂した中長期経営計画に基づき、生活環境の改善(汚水の排除)、浸水の防除(雨水の排除)、公共用水域の水質保全の役割を果たすよう事業の推進に取り組んでいきます。

令和2年度の業務状況は次のとおりです。

処理状況を前年度と比べると、年間総処理水量は164万³m³(3.4%)増加して4,955万³m³となり、年間有収水量は38万³m³(1.0%)増加して3,723万³m³となりました。

次に、決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は5,952万円(0.6%)減少して95億2,560万円となりました。一方、支出総額は2億2,548万円(2.5%)減少して87億4,128万円となりました。

この結果、令和2年度決算において、7億8,431万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

ア 業務量

区 分	単位	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸び率 (%)
下水道普及率	%	98.5	98.5	0.0	0.0
水洗化率	%	98.1	98.1	0.0	0.0
年間総処理水量	m ³	49,552,302	47,908,928	1,643,374	3.4
年間有収水量	m ³	37,233,785	36,856,890	376,895	1.0

イ 調定件数内訳

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (件)	伸び率 (%)
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)		
大津処理区	557,402	33.8	550,022	33.7	7,380	1.3
藤尾処理区	25,270	1.5	25,126	1.5	144	0.6
湖南中部処理区	520,738	31.5	513,185	31.5	7,553	1.5
湖西処理区	549,097	33.2	542,059	33.3	7,038	1.3
計	1,652,507	100.0	1,630,392	100.0	22,115	1.4

ウ 汚水量内訳

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	汚水量 (m ³)	構成比 (%)	汚水量 (m ³)	構成比 (%)		
大津処理区	12,119,724	32.6	12,087,986	32.8	31,738	0.3
藤尾処理区	498,977	1.3	497,876	1.3	1,101	0.2
湖南中部処理区	11,798,611	31.7	11,646,637	31.6	151,974	1.3
湖西処理区	12,816,473	34.4	12,624,391	34.3	192,082	1.5
計	37,233,785	100.0	36,856,890	100.0	376,895	1.0

エ 事業収益

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
下水道使用料	6,570,074,948	69.0	6,735,760,562	70.3	△ 165,685,614	△ 2.5
雨水処理負担金	538,710,084	5.7	526,278,568	5.5	12,431,516	2.4
その他営業収益	534,400	0.0	533,700	0.0	700	0.1
営業外収益	2,203,223,078	23.1	2,225,581,442	23.2	△ 22,358,364	△ 1.0
特別利益	213,053,733	2.2	96,960,285	1.0	116,093,448	著 増
計	9,525,596,243	100.0	9,585,114,557	100.0	△ 59,518,314	△ 0.6

オ 事業費用

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
営業費用	7,953,857,921	91.0	7,954,845,932	88.7	△ 988,011	0.0
営業外費用	775,517,652	8.9	880,243,762	9.8	△ 104,726,110	△ 11.9
特別損失	11,908,325	0.1	131,670,846	1.5	△ 119,762,521	著 減
計	8,741,283,898	100.0	8,966,760,540	100.0	△ 225,476,642	△ 2.5

カ 令和2年度純利益

784,312,345円

第3 ガス事業

1 事業の概況

(1) 総括事項

(業務状況)

令和3年度上半期の託送供給件数は前年同期と比較して832件(0.8%)増加し、託送供給収益は前年同期と比較して552万円(0.4%)増の14億4,776万円となりました。また、受注工事収益は1,760万円(7.3%)減の2億2,433万円となりました。

(建設・改良・維持管理)

拡張事業については、市北部及び市南東部地区において、供給区域内の未供給地区で導管網の整備を進めています。また、宅地開発等に伴う都市ガスの供給申請の要望に基づく導管網の整備や導管のループ化など、安定したガス供給の確保に努めています。

改良事業については、都市ガスの長期安定供給を図るため、経年管の布設替えや耐震性ガス導管網の整備を引き続き行い、ガス漏れの予防保全、災害に強いガス設備の整備に努めています。

保安対策については、24時間常駐体制の下、修繕業務等を行うとともに、ガス漏れ、火災発生時に緊急出動を行い、二次災害の防止に努めました。

(経理状況)

令和3年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して400万円(0.2%)減少し、17億8,180万円となりました。一方、費用総額は2,437万円(1.5%)減少して16億2,743万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き1億5,437万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

区 分	単位	令和3年度 上半期	令和2年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
期末託送供給件数	件	100,811	99,979	832	0.8
期間託送供給量	m ³	64,395,080	60,658,816	3,736,264	6.2
一日平均託送供給量	m ³	351,886	331,469	20,417	6.2

ガ ス 売 上	円	373,845	355,513	18,332	5.2
託 送 供 給 収 益	円	1,447,760,538	1,442,239,291	5,521,247	0.4
受 注 工 事 収 益	円	224,326,824	241,928,522	△ 17,601,698	△ 7.3
特 定 事 業 収 益	円	65,105,760	67,825,305	△ 2,719,545	△ 4.0
そ の 他 収 益	円	44,233,472	33,454,613	10,778,859	32.2
総 収 益	円	1,781,800,439	1,785,803,244	△ 4,002,805	△ 0.2
総 費 用	円	1,627,433,098	1,651,800,803	△ 24,367,705	△ 1.5

※ 文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

※ 表中令和2年度上半期の業務実績に係る数値は、前年度に公表した数値に、公表後に生じた要因による数値の変動を反映させたものです。

2 経理の状況

(1) 損益計算書

損 益 計 算 書

令和3年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
ガ ス 事 業 売 上 高	(1,448,134,383)	営 業 費 用	(1,370,876,299)
ガ ス 売 上	373,845	売 上 原 価	171,639
託 送 供 給 収 益	1,447,760,538	供 給 販 売 費	1,268,708,294
営 業 雑 収 益	(224,326,824)	一 般 管 理 費	101,996,366
受 注 工 事 収 益	224,326,824	営 業 雑 費 用	(191,544,041)
附 帯 事 業 収 益	(65,105,760)	受 注 工 事 費 用	191,544,041
特 定 事 業 収 益	65,105,760	附 帯 事 業 費 用	(56,579,940)
営 業 外 収 益	(44,233,472)	特 定 事 業 費 用	56,579,940
受 取 利 息 及 び 配 当 金	11,566,558	営 業 外 費 用	(8,432,818)
長 期 前 受 金 戻 入	10,104,000	雑 支 出	8,432,818
雑 収 益	22,562,914	当 期 純 利 益	(154,367,341)
計	1,781,800,439	計	1,781,800,439

(2) 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和3年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[19,293,178,856]	固 定 負 債	[699,294,160]
有 形 固 定 資 産	< 11,535,194,708 >	引 当 金	699,294,160
供 給 設 備	(49,745,945,562)	流 動 負 債	[952,730,556]
土 地	579,008,993	前 受 金	114,254,650
建 築 物	996,128,473	預 り 金	661,183,771
機 械 及 び 装 置	1,027,463,294	そ の 他 流 動 負 債	177,292,135
導 管	46,624,206,821	繰 延 収 益	[258,533,186]
ガ ス マ ー タ ー	250,168,776	長 期 前 受 金	321,280,384
車 両 運 搬 具	34,292,365	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 62,747,198
工 具、器 具 及 び 備 品	60,066,461	資 本 金	[23,812,374,834]
		資 本 金	23,812,374,834

供給設備減価償却累計額	(△ 38,727,083,986)	剰 余 金	[3,493,489,502]
業 務 設 備	(402,744,440)	資 本 剰 余 金	142,725
土 地	129,914,228	利 益 剰 余 金	3,493,346,777
建 物	161,732,134	当 期 純 利 益	[154,367,341]
構 築 物	13,026,790		
車 両 運 搬 具	2,016,017		
工具、器具及び備品	96,055,271		
業務設備減価償却累計額	(△ 219,967,265)		
建 設 仮 勘 定	(333,555,957)		
無 形 固 定 資 産	< 110,378,148 >		
電 話 加 入 権	711,976		
預 託 金	121,930		
ソ フ ト ウ ェ ア	109,544,242		
投 資 そ の 他 の 資 産	< 7,647,606,000 >		
流 動 資 産	[10,077,610,723]		
現 金 ・ 預 金	9,311,805,794		
売 掛 金	422,222,158		
未 収 金	8,092,668		
有 価 証 券	200,000,000		
貯 蔵 品	9,554,939		
前 払 金	34,253,400		
そ の 他 流 動 資 産	91,681,764		
計	29,370,789,579	計	29,370,789,579

3 令和2年度決算状況

(1) 総括事項

令和2年度のガス事業は、安定供給や保安の確保を図るため、「大津市ガス事業中長期経営計画(経営戦略)」に基づき、供給区域内の未供給区域等への導管整備を計画的に実施し、経年管布設替え等の改良工事、需要家設備の安全点検などの保安対策に取り組みました。

経営面では、託送供給収益が増加したこと等から、純利益を計上することができました。しかしながら、市域でのガス供給量は減少傾向にあることに加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後のガス需要が見通し難い状況となっており、今後とも厳しい経営状況が続くものと予測されます。

このような中、効率的な業務執行と経費の節減を図るとともに、お客様に継続して安心・安全にガスを供給するため、令和2年度に改訂した中長期経営計画に基づき、計画的な導管整備や災害対策、ガス施設の安全管理に引き続き取り組んでいきます。

令和2年度の業務状況は次のとおりです。

供給状況を前年度と比べると、年度末現在供給戸数は746戸(0.7%)増加して10万555戸となりました。一方、託送供給量は1,349万m³(9.3%)減少して1億3,199万m³となりました。

次に、決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は2億193万円(4.7%)減少して41億1,362万円となりました。一方、支出総額は1億1,887万円(3.2%)減少して36億2,028万円となりました。

この結果、令和2年度決算において、4億9,335万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

ア 業務量

区 分	単位	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸び率 (%)
受 入 ガ ス 量	m ³	127,093,058	139,836,767	△ 12,743,709	△ 9.1
一 日 平 均 受 入 ガ ス 量	m ³	348,200	382,068	△ 33,868	△ 8.9
託 送 供 給 量	m ³	131,987,539	145,475,255	△ 13,487,716	△ 9.3
一 日 平 均 託 送 供 給 量	m ³	361,610	397,473	△ 35,863	△ 9.0
年 度 末 現 在 供 給 戸 数	戸	100,555	99,809	746	0.7

イ 契約別託送件数

区 分	単位	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸び率 (%)
標準託送	件	100,452	99,708	744	0.7
高倍率託送	件	46	44	2	4.5
大量輸送託送	件	57	57	0	0.0
合 計		100,555	99,809	746	0.7

ウ 契約別託送供給量

区 分	単位	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸び率 (%)
標準託送	m ³	43,723,090	41,800,106	1,922,984	4.6
高倍率託送	m ³	1,418,334	1,535,256	△ 116,922	△ 7.6
大量輸送託送	m ³	86,846,115	102,139,893	△ 15,293,778	△ 15.0
合 計		131,987,539	145,475,255	△ 13,487,716	△ 9.3

エ 事業収益

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)		
ガス売上	851,701	0.0	742,228	0.0	109,473	14.7
託送供給収益	3,436,482,959	83.5	3,204,468,719	74.3	232,014,240	7.2
営業雑収益	402,012,680	9.8	446,607,835	10.3	△ 44,595,155	△ 10.0
附帯事業収益	164,359,363	4.0	170,100,201	3.9	△ 5,740,838	△ 3.4
営業外収益	109,917,363	2.7	149,885,379	3.5	△ 39,968,016	△ 26.7
特別利益	0	0.0	343,750,193	8.0	△ 343,750,193	皆減
計	4,113,624,066	100.0	4,315,554,555	100.0	△ 201,930,489	△ 4.7

オ 事業費用

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)		
売上原価	416,011	0.0	408,184	0.0	7,827	1.9
供給販売費	2,729,293,879	75.4	2,784,269,084	74.4	△ 54,975,205	△ 2.0
一般管理費	287,764,362	8.0	294,213,227	7.9	△ 6,448,865	△ 2.2
営業雑費用	395,660,919	10.9	426,198,127	11.4	△ 30,537,208	△ 7.2
附帯事業費用	162,521,446	4.5	168,431,413	4.5	△ 5,909,967	△ 3.5
営業外費用	44,461,029	1.2	26,193,127	0.7	18,267,902	69.7
特別損失	159,643	0.0	39,429,640	1.1	△ 39,269,997	著減
計	3,620,277,289	100.0	3,739,142,802	100.0	△ 118,865,513	△ 3.2

カ 令和2年度純利益

493,346,777円